

2021夏季闘争ニュース

No.21-09 2021年8月1日
発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部
【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>
メール union@r05.itscom.net

東京最低賃金:28円UPでは足りない!

7月21日、東京地方最低賃金審議会は東京の最低賃金を、中央最低賃金審議会の目安どおり28円引上げ、時給1,041円とする答申を行いました。

昨年は中央最賃審議会から「目安」がでず、結果東京都の最賃は時給1,013円のまま据え置きでした。今年は、全国のA～Dランク同額の28円引上げを答申。最低賃金を時給で示すようになった2002年度以降で最高額で、全国平均は930円(現在は902円)。全都道府県で最低賃金が800円を超えることとなります。

しかし時給1,041円でも×8時間×240日=199.9万円。厚労省2019調査の平均所得552万円・中央値437万円の36%・45.7%に過ぎません。今後、「異議申立て」を行います。→ **目黒労協HPを見て!**



7/6 中目黒駅最賃UP! 宣伝行動



7/17 学芸大学駅宣伝行動

目黒労協・最賃大幅引上げ求め宣伝行動

目黒労協は、緊急事態宣言などの状況下でも、工夫して最賃UP、組合に入ろうと駅頭宣伝行動を7/6、7/17と十数名で実施。宣伝プラスター・音源など整備。中央最賃審議会への要請行動にも参加。目黒労協Facebookで、その都度報告。労協HPにまとめています。見てね!

中央・東京最賃審議会に要請行動

実質審議の場7/1.7.13.14中央最賃審議会目安小委員会は非公開で、会場前で東京春闘共闘の要請行動に参加。昨年は決裂・今年は政府方針の最賃引上げを公益委員主導で。経営側が強硬に抵抗。東京では7/2審議会:抽選に当たって傍聴,7/19・21審議会は中央最賃審議会目安どおりに対し経営側



7/8 全労連中央行動：日比谷野音→銀座デモ

日比谷野音に続いて厚生労働省、人事委員会前にて約 300 人で集会。出版労連、福祉労などが最賃大幅引き上げを求めました。人事委員会前からは、8 月初めにもマイナス勧告、一時金削減も予想されるとの情勢報告が公務労組連絡会から。シュプレヒコールを行い、銀座デモに向かいました。(労協/事務局)



職場報告—コロナ禍での組合活動

目黒学院教職組

教育現場では試行錯誤の取組みが

昨年度の初め、我々教職員は緊急事態宣言の中、初めてのオンライン授業への取り組みに試行錯誤を重ねていました。どの学校も同じような状況だと思いますが、普通科の学校には当然オンライン授業を行うための機材はありません。そのような中、教職員が工夫、協力してオンライン授業を行ってきました。

2021 春闘の取組みと「組合の魅力」発信

1 年が経過し、未だ収束への目途が立たないコロナ禍の中での春闘、今年度の要求には賃金はもちろん、その他の要求として ICT 環境の充実に重点を置いてみました。その結果、夏季の一時金は例年と変わらず、学内に wi-fi 環境を整えるという前進した回答が見られました。職場の現状を分析し、執行部で話し合い、あきらめずに要求した結果だと思っています。

昨年度から組合員の増減はありませんが、若い教職員が増えてきたので、若い教職員を中心に今後、組合への勧誘をしていこうと考えています。上部団体である私教連もなかなか研修等できない中、組合の魅力を若い人々に伝えることが難しいと感じていますが、労働組合の必要性を今一度理解してもらい、積極的に勧誘しようと思います。

毎週の執行委員会継続と、今後の組合活動での工夫も

組合活動の工夫としては連絡を密にとることでしょうか。毎週月曜日の執行委員会はなるべく欠かさないようにしています。若い頃、先輩の先生に「何事もなくとも集まるのが結束につながる」と教えられたので、忙しくて集まりたくないこともありますが、そんな時は時間を短く、1 時間以内に終わらせるよう工夫しています。

これから暑い日が続きます。目黒区で働くみなさんもうつ病に気を付けて、無理なく、明るい職場づくりとともに邁進していければよいと思っています。今後ともご協力の程よろしく申し上げます。

(6/30 記：目黒学院教職員組合 委員長)



福祉保育労 愛隣会分会

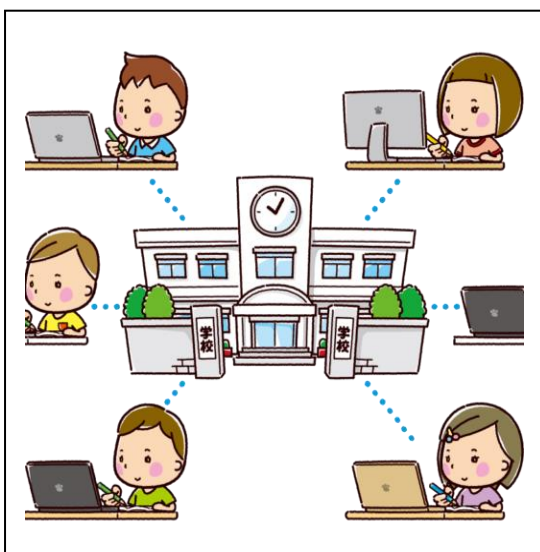
コロナ禍での職場と子どもたち

昨年はコロナの影響もあり、愛隣会分会で唯一のイベントであった、納涼会や忘年会を開催することが出来なかったのが、本当に残念でした。もう少し時間がかかると思いますが、以前の日常がもどったら、組合員や職員の皆さんとの交流会を、必ずやりたいとみんなで話しています。

私の勤務する職場の児童養護施設では、緊急事態宣言の中で、長期休みを利用した旅行の計画を、なかなか立てることができなかつたりで、大人だけでなく子どもたちも我慢の生活が続いています。

職員みんなの奮闘と、子どもたちの環境の激変

そういう中でも、職員のみんで知恵を絞り、オンラインを活用したゲーム大会や食事作り、家に籠りがちにならないように早朝のランニングなど、コロナ禍ならではのことを企画し、子どもたちと過ごしています。制限されたからできないことが増えたかもしれないけれど、逆に、制限され



たからこそ出来ることもあるんだな、と実感しています。

また、子どもたちの学校生活もガラリと変わり、小中学生には、目黒区からタブレットが配布され、それを活用した授業を実施していたり、高校生は、自宅からオンラインで授業を受けるのが、当たり前ようになってきました。少し前までは全く考えられなかったことであり、時代の移り変わりを感じるとともに、人との関わりの気薄さも感じてしまいます。

卒園(児)生もコロナ禍で、なかなか施設に寄ることができない状況があります。彼らの生活状況のことも気になりますし、たまには顔を出してもらいたい気持ちはありますが、施設の運営上、ぜひ来てくださいと言え

ず、もどかしく感じております。何にしる、今は我慢をしつつ、いつか来るであろう収束を信じ、日々子どもたちと過ごしています。(6/4 記：分会長)

地域での共同の取組み

目黒社保協・2021年度総会開かる

7月17日(土)、午後2時より土建目黒会館で、目黒社会保障推進協議会の「2021年度総会」が行われました。4回目の緊急事態宣言下での開催となったため、参加は常任委員(役員)に絞り、短時間での運営となりました。予定していた学習会、「都立病院の独立行政法人化による影響と“都立”の役割」は、講師の方の急病により中止となりました。都議会での推進をやめさせるための署名運動成功をめざし、近いうちの再度の学習会を企画することとしました。(労協/社保協担当)



JAL のこんな解雇は許されない!

6/29 JAL 争議宣伝行動

JAL 争議支援、品川駅江南口宣伝行動。コロナ禍で久しぶりの月例行動、ビラは配布せず、20 数名でスタンディング、宣伝カーから支援、原告が訴えるスタイルでした。目黒労協、目黒ユニオンからも 3 名参加。(めぐろユニオン/通信員)



7/2JAL 争議オリパラ組織委員会前宣伝行動



7月2日、朝8時45分から、勝ちどきトリトンスクエアのオリパラ組織委員会前での宣伝行動。1時間にわたって、原告1人ひとりがマイクを持ち訴え。「30歳定年制」撤廃では、毎年定年延長の願いを提出していたとのこと。定年まであと3年で整理解雇—10年闘い続けている、同年代—自分と重ねて、本当に一刻も早い勝利解決を望む。ところで約4000人のオリパラ組織委員会の職員は3割東京都、2割が各区市からの

出向公務員。風通し悪そうで、通勤も大江戸線・勝どき駅は出勤者で大行列。目黒からの派遣されている皆様も、どうぞお体を大切に。(めぐろユニオン/通信員)

7月20日 目黒労協執行委員会開催

7/20(火)労協執行委員会開催。緊急事態宣言のため区立会場使えず、土建目黒会館にて。

*わくわくこどもまつり：今年もweb開催、今年も労協としてもweb版参加の方向で検討

*今年の日黒区平和祈念行事：屋外の平和の石、平和の鐘は行われる。中学生広島派遣は工夫して実施をと意見出したが、昨年に続き今年も中止に。

*争議支援：この間JAL争議、IBM支援に参加、しかしその後緊急事態宣言となり自粛。

*宣伝活動：最賃宣伝、次回は8/10(火)。未組織宣伝、次回9/18(土)を予定。

*JAL 争議支援：「ビアパーティ」無理→10月大会前「報告会&支援物販」を中心に、開催を宣言解除後で検討する。

*都立広尾病院独法化反対、10月都議会向け署名取り組む。目黒区議会・区への取組み検討。

*次期役員選考：労協四役で検討・協議。

*ハイキング：弘法山—鶴巻温泉コースを第一候補に、大会後11/20(土)予定で準備進める。

*労働講座：ハイブリット形式で12月企画。

*目黒労協定期大会 11/6 土建会館。昨年同様、

人数しぼって。 次回執行委員会は8月24日(火)

